



いちいの会 だより

平成30年
46号

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com>

ICHIINOKAI VOL. 46



新年を迎えて

社会福祉法人いちいの会 総合施設長 清本健二郎

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、私ども社会福祉法人いちいの会の事業推進に対しまして、格別のご支援とご指導を賜り厚く御礼申し上げます。関係機関、地域、家族会の皆様のおかげで、無事新年を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

さて、昨年はくすのき苑の南側隣接の土地（約1600坪）を購入する事が出来、今後の中長期事業計画の検討を始めました。くすのき苑の約40年後の建替えも踏まえ現在のいちいの会を利用して頂いている利用者の方々の今のニーズ、これからのニーズ、地域の方々のニーズを形に出来るよう、今出来るところから情報の収集、検討を専門家を交え始めております。

そして、本年は「障害者総合支援法施行3年後の見直し」「報酬改定」「職員の採用、育成」等対応すべき課題は山積みです。当法人では従来通り利用者の方を第一とする理念は変わることなく、「笑顔で笑顔をつくる」この仕事にプライドを持ち、プロの福祉職を誇れるよう役職員一同、取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではございますが、利用者の方々、ご家族、地域の皆様、関係各機関、団体の皆様のご多幸を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



●目次●

- ◇総合施設長挨拶 …… 1
- ◇家族会職員合同
研修会 …… 2
- 事業所だより …… 2,3
- ◇くすのき祭 …… 4
- ◇行事いろいろ …… 5
- ◇新任職員紹介
行事報告
編集後記 …… 6

平成29年9月22日に、ザ・クレストホテル柏にて家族会・職員合同研修会を行いました。

ここ数年間、「親なきあと」障害のある子を持つ家族が今できることはなにか。施設としてできることはなにか。を大きなテーマとし、ディスカッションや講師の先生を招いて、研修会を行ってきました。特に中心的に学んできたことは成年後見制度です。障害を持つ方々が制度を利用するにあたり、どのようなメリットがあるのか、デメリットはなにか。その子が安心して暮らすための制度であるはずだが、財産の管理、費用、身上監護とは……。いろいろな事を考えると不安を払拭することができず、制度を利用したほうが良いのは理解できるが、はたしてそれが得策なのかと悩むご家族が多くいらっしゃいました。



そこで今年は「親なきあと」相談室主宰・行政書士の渡辺伸先生をお招きし、“障害のある子の家族が知っておきたい「親なきあと」～「親あるあいだの」準備～”を演題としてご講話いただきました。現実的なお金のことや遺言、遺産のこと、信託のこと等、事例を取り上げながら、とても具体的で身近なお話を聞く事が出来ました。お話の最後に「社会との接点を増やす＝子供のことを話せる相手を見つけておく」とありました。これは誰にでも当てはまることだと思いました。

同じ境遇、悩みを持つ仲間たちと情報を共有して共感し合うこと、そしてそのネットワークを広げていくことは、自分自身の強みにもなり、安心感に繋がっていくこともできるのではないかと思います。

くすのき苑

第1支援係長 猪野 恭子

最近ますます1年があっという間に感じられ、個人的にはあれもこれもやりたい！と少し焦ってしまうこの頃です。

建物に大きなガラスが多く使われているくすのき苑。この時期、晴れた日にはポカポカと陽の当たる場所に利用者さんが集まります。つい急ぎ気味に仕事をしてしまうことも多い毎日ですが、皆思い思いに過ごすあの雰囲気の中、たまにはその場所で少しの時間でも一緒にのんびりと過ごしてみるのもいいものだな、と思うことも。この1年も、利用者の皆さんにとってはもちろん、私達職員にとっても、ほっと一息つける、そんな場所と時間が存在するくすのき苑でありたいと思います。

中核地域生活支援センターのだネット

障がい者グループホーム等支援ワーカー
大橋 宣彦

今年度、中核地域生活支援センターのだネットに配属されてから、ドラマや小説を楽しむ際に今まで以上にハッピーエンドを求めるようになりました。

のだネットには毎日様々な問題を抱えた方の電話があり、相談をするために来所されます。抱えている問題は皆深く、重いものです。優しさだけではなく、傾聴力、調整力、知識力、忍耐力等の様々な「力」が必要です。強力な「力」がないと誰も救うことが出来ないことを日々痛感しています。

「理不尽な理由でつらく悲しい思いをしている人を、誰一人として見捨てない」
ドラマのようなハッピーエンドは望めないかもしれませんが、中核設立の理念を忘れず、皆様と一緒に一歩一歩進んで行ければと思います。



ワークショップくすのき

生活支援員 小島 陽子



暑さ残る9月13日、ダイバーシティとフジテレビに第一グループの日帰り旅行を実施しました。連休前で高速道路は大渋滞でしたが、バスの中ではスカイツリーを見て興奮する方、『着いたら何を食べようか』『お土産は何にしようか?』など次から次へと話題は尽きることはありませんでした。ダイバーシティでは、少人数でのグループ行動となり、沢山ある店舗に目移りしながらもご家族へのお土産や自分へのお土産選びを楽しみました。フジテレビでは、いつも見ているアニメのコーナーを見つけて喜んだり、番組収録に遭遇したグループは、大物芸能人に会ってテンションも上がり大喜びしていました。

そして、10月15日、第二グループは大洗水族館を訪れました。渋滞もなくスムーズに到着しましたが、多くの園児や小学生が訪れていて館内は大混雑でした。日本でトップクラスの大水槽ではアクアウォッチングといって、ダイバーが魚たちを、カメラを使って紹介するショーを観ました。知っている魚がアップになると興奮気味に話す人、魚には興味を示さず海鳥を見つけて嬉しそうに走って水槽へ近づく人、魚よりもチョコドリンクやケーキに気持ちがうつっている人など、それぞれの楽しみ方を見つけた旅行でした。



グループホームかえで

主任生活支援員 国分 雪江

昨年の4月から12月の間に、世話人さんのお声掛けもあり、5名の世話人さんが新たに一緒にお仕事をされています。

どの方も、福祉施設での仕事経験のない方々ですが、試行錯誤しながらも職員に困ったことを相談したり、世話人さん同士情報交換を取るなどして頑張っています。大変に思うこともある中、入居者の方が初めて一緒に手伝いをしてくれた事などを、笑顔で話してくれると、こちらも本当に嬉しくなります。皆さん協力し合っている姿を見ると、自分も初心に戻り頑張らねばと思う日々を過ごしております。

今年も気持ちを新たに、皆さんと励まし合い助け合いながら頑張って参りたいと思います。

相談支援センターいちいの木

相談支援専門員 中村 成彦

相談支援センターいちいの木では、この時期から支援学校等の卒業者の進路についての話が出てきますが野田市内の生活介護事業所や就労継続支援B型の事業所数は少なく、新規参入する事業所もありません。現存の事業所でやりくりしているのが現状です。就労継続支援A型や放課後等デイサービスは新規に設立されていますが、重度の方が通える場所は少なく、利用者の方が選べないのが現状です。重度の方でも通える事業所及び入居できるグループホームが野田市内には必要だと感じています。



第17回 くすのき祭



実行委員長
金 隆史



世間では運動会シーズン真っ只中の11月5日、いちいの会では「第17回くすのき祭」が行われました。当日は天候にも恵まれ、空一面真っ青とした快晴の中、参加者数650名を超える大変大勢の方に御参加いただきました。

開催にあたり「高柳福祉会様」「川間地区社協様」「関宿福祉作業所様」「野田市あすなる職業指導所様」に様々な商品の販売でのご参加いただきました。他にも模擬店の配布やステージライブ等、活気溢れる祭りとなりました。

今年のステージライブは、野田文化研究会「遊家様」によるエイサーの披露。お祭りに躍動感を出していただきました。祭りの度にご協力いただき、もうすっかり恒例となりました「ぼたんの会様」による踊り。「関宿郷土民謡保存会様」の駒橋様の歌に合わせた踊りは祭りに華がでました。この他にも関宿高校吹奏楽部の皆さん、木間ヶ瀬小学校の皆さん、ボランティア、駐車場をお借りする等、様々な方からの御支援により大盛況の中、執り行うことができました。有り難うございました。

地域の中にある施設として、このようにたくさんの皆様に足を運んでいただけることは非常に有難いことだと感じております。これからも、「地域に根差した施設、開かれた施設」を目指してまいります。

今後とも宜しくお願い致します。



いらっしゃいの会

くすのき苑に3名の新しい職員が入職し、いらっしゃいの会を行いました。3名とも人生経験豊富なしっかり者。利用者さんからは「これからよろしく」、3名からは「頑張ります！」と互いに挨拶を交わしました。

主任生活支援員 山田 宗成



日帰り旅行

暖かく天気にも恵まれ、埼玉県飯能市にあるあけぼの公園と、さわびの湯に行ってきました。自然に囲まれた公園では楽しそうに自然と触れ合い、温泉では紅葉が見える露天風呂で日頃の疲れを癒してきました。

生活支援員 吉原 咲登美



手をつなぐスポーツのつどい

手をつなぐスポーツのつどいでは、利用者と職員仲良く競技に参加しました。一番盛り上がったのはパン食い競争で、貰ったあんぱんを皆、嬉しそうに食べていました。来年も是非参加したいと思います。

生活支援員 中山 明日美



職員日記

生活支援員 田嶋 剛宜



私たち夫婦は動物が大好きで、猫にウサギに犬にネズミと、いろんな動物が増えていき、とても充実した生活を送っています。その中でも猫に至っては、職場の近くにいる子猫を保護したり、気が付けば5匹の猫大家族が出来上がりつつあり、毎日とてもにぎやかです。オスメスの混合飼育の為、これ以上増えてしまわないようにと、11月22日に2人で4匹の去勢・避妊手術の為に東京の動物病院まで出かけました。子猫たちにとっては慣れない外出に始めは車内をウロウロと落ち着かない様子でしたが、次第に慣れてきたのか、4匹固まって寝ている姿にうっとり癒されました。ですが、病院が近づくにつれ子猫達以上に、夫婦間で「大丈夫かな？」と不安が増えていき「今日はこの辺にしようか？」と冗談をこぼすように、子供を病院へ連れていく親の気持ちが分かったような気がしました。子猫を預け、待っている間も2人で近くの猫カフェで猫に癒され、術後も頑張った子猫に癒されるそんな猫尽くしの1日でした。

あまり何の変哲もない毎日ですが、私たち夫婦は動物たちに癒しをもらって生きています。



新任職員紹介



生活支援員
金子 純子

9月に入職した金子純子です。野球が好きでジャイアンツの阿部選手が好きです。くすのき苑は職員同士協力しているところが素敵だなと思っています。覚えることが沢山ありますが、一生懸命頑張りたいと思います。



生活支援員
相馬 孝至

10月よりくすのき苑の生活支援員として働く事になりました、相馬孝至です。わからない事がたくさんありますが、一日も早くより良い支援が出来るよう精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願いします。



生活支援員
堀池 豊

この度くすのき苑の職員となった、堀池豊と申します。私は今まで、福祉関係の職種には就いてはおりませんでした。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、一生懸命頑張ります。

行事報告

9月

健康診断
理事会
家族会・職員合同研修会

10月

法人全体会

11月

くすのき祭、理事会・経営会議
手をつなぐスポーツのつどい
日帰りバス旅行

12月

クリスマス会・忘年会
冬季帰省期間(12/28 - 1/4)



● 編集後記 ●

なぜ日々運動をするのか、第一に健康の維持と答える。次にお酒を飲むと答える。お酒を辞めればもっと痩せる事が出来るが、お酒は辞められない。酒は百薬の長という。お酒は適度に飲むと健康にいいのだ。(内山)

お鍋がおいしい季節になってきました。我が家では週1ペースです。野菜嫌いでもお鍋になるとたっぷりの野菜を食べることが出来ます。日頃偏った食事をしてる私は、どうか来年の健康診断では引っこかりませんようにと願いながら、お腹いっぱい食べています。(伊藤)

いちいの会だより VOL.46

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑
〒270-0222 千葉県野田市木間ヶ瀬3121
TEL:04-7120-6667 FAX:04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎

編集 広報委員会 内山・伊藤・中嶋

発行日 平成30年1月1日

E-mail kusunokien@nifty.com

H P URL:http://www.ichiinokai.com/